

令和4年度 栃木県立日光明峰高等学校 学校評価シート



学校教育目標

- 伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、自己実現に向けて個性や能力を伸ばし、人生を拓いていくことができる人間の育成
- 他者への思いやりと規範意識を持ち、多様な人々と協働しながら、社会の一員として地域に貢献できる人間の育成

本年度の重点目標

- 特例校としての「学校力」を最大限に発揮するための学校経営の充実
- 生徒一人一人に、自らの成長を実感させる指導・教育活動の充実

評価		
A	達成できた	… (80%以上)
B	ほぼ達成できた	… (80%～60%)
C	十分とは言えない	… (60%～30%)
D	達成できなかった	… (30%以下)

学 校 自 己 評 価								学校関係者評価
学 校 評 価 実 施 概 要					達 成 状 況 と 評 価			令和5年2月15日実施
評価区分	評価項目	重点施策	具体的方策	方策の評価指標	方策の達成状況	部分評価	次年度への課題と改善策	評価、意見等
(1)	魅力化・特色化の一層の推進	①ウィンタースポーツの強化、地域の教育資源の活用等、魅力や特色ある教育活動の展開	外部指導者の活用による専攻実技の充実・ウィンタースポーツの強化	外部指導者の活用状況 各種大会の実績	アイスホッケー部で専攻実技に外部指導者を活用。大会実績もあがっている。	A	・「日光学」など特色ある教育活動の深化を図るとともに、これまでの実践を記録としてまとめ、今後の指導に活用する。 ・中高連携を強化し、中学校の指導に含ませて情報発信の時期や内容を見直すことで、これまで以上に本校の魅力や教育成果等の周知を図る。	・学校評価アンケートからも、教育活動の充実や日頃の先生方の指導の成果が感じられる。この結果に慢心することなく、評価のやや低い項目については検証を行い、改善を進めてほしい。
			総合的な探究の時間の増単位に合わせた「日光学」の発展的拡充	地域連携活動の実施状況 学校評価アンケート結果分析	2つの助成金獲得、地域連携活動の充実、生徒の肯定的評価9割以上。	A		
		②学校運営協議会と連携を図った学校経営と教育成果等の積極的なPRによる入学者の確保	HP・広報誌・SNS等の効果的な活用による広報活動の推進	進路希望調査・志願者数の推移、広報活動状況の分析	明峰だよりや中学校向け案内チラシを発行。進路希望者数が昨年度より増加。	A		
			一日体験学習やオープンスクールの充実・中学校訪問による中学校との連携強化	参加者数の推移 参加者アンケート結果分析	一日体験学習の参加者が大幅に増加。アンケート結果も良好。	A		
(2)	個に応じたきめ細かな指導の充実	①学び直しやTT等による指導の工夫・改善と発展的な力を伸ばすための指導の充実	教科会や研究授業をととした観点別評価に基づく授業改善の推進	教科会・研究授業等の実施状況、教員アンケート結果分析	3観点による観点別評価を実施。中学校教員対象公開授業にて研究授業を実施。	A	・定期的な教科会や授業研究会、教科会での情報共有等を行い、適切な観点別評価の実施やICT活用の研究に取り組む。 ・SCやSSW _r とのカウンセリング等と教員の日常的教育活動を効果的に結びつけていくことで、個に応じた相談・支援体制の一層の充実に取り組む。	・英検については、日光市も取得を推進しているので、今後小中高連携して取り組んでいけるとよい。また、国際観光都市日光に学ぶ生徒として、外国人観光客への世界資産の案内等にもつながると思う。
			各種検定受験の推奨と指導の充実	検定受験者数の推移 合格状況の分析	英検を中心に、受験者数・合格者数ともに増加。	B		
		②教育相談・特別支援体制の充実と自主性・主体性を育てる指導の工夫・改善	課題や悩み等を抱えている生徒の早期発見とSC等と連携した組織的な対応	SCの活用状況 ケース会議等の実施状況	SCを計画的に活用。ケース会議を適時実施。組織的な教育活動を展開。	A		
			SSW _r や関係諸機関と連携した個の特性に配慮した特別支援教育の充実	SSW _r の活用状況、委員会等の実施状況、関係諸機関との連携状況	SSW _r を計画的に活用。関係諸機関とも連携。個別の支援計画作成の拡充。	B		
(3)	社会的自立に必要な力を育成する指導の充実	①地域社会と連携した教育活動の充実と3年間を見通したキャリア教育の推進	進路別見学会やインターンシップなどのアクティブラーニング型の進路学習の充実	進路行事の実施状況 学校評価アンケート結果分析	進路別見学会、インターンシップの実施、生徒の肯定的評価9割以上。	A	・生徒が将来の「自立」に向けて自身の進路や職業について主体的に考えられるような、3年間を見通した系統的な指導体制やプログラムを構築する。 ・生徒の意見や他校の情報も参考に、時代に即した校則や規定の見直しを進め、保護者等への情報提供も適宜行い、協力体制を確立する。	・英検については、日光市も取得を推進しているので、今後小中高連携して取り組んでいけるとよい。また、国際観光都市日光に学ぶ生徒として、外国人観光客への世界資産の案内等にもつながると思う。
			保護者や外部機関とも連携した全体計画に基づく体系的な指導体制の構築	学校評価アンケート結果分析	保護者の肯定的評価は8割以上だが、「そう思う」が5割以下。	B		
		②「礼・挨拶・身だしなみ・清掃」の徹底と基本的生活習慣の定着のための指導の充実	生徒の意見も参考にした服装や頭髮に関する規定の見直し	規定の見直し状況 学校評価アンケート結果分析	生徒の意見も参考に、規定の見直しを実施。保護者の「そう思う」が4割以下。	B		
			生徒会委員会活動と連携した挨拶運動や美化活動の充実	委員会活動の実施状況 学校評価アンケート結果分析	挨拶運動や清掃強化週間を実施。生徒・保護者の肯定的評価9割以上。	A		
(4)	職場環境の改善と安全・安心な学校づくり	①業務の精選・効率化と生徒及び教職員がいきいきと生活できる学校づくりの推進	業務の精選や見直しによる効率的で効果的な教育活動の実践	教員アンケート結果分析	分掌部の統合等により組織的・効果的な取組を実践。「そう思う」が5割以下。	B	・学校行事の実施時期の見直しや業務の効率化、職員間での情報共有等により、協働体制や学校組織の強化に取り組む。 ・「ヒヤリハット事例の分析や共有、生徒の意識や主体性を高められるような防災訓練の実施等により、安全・安心な学校づくりを進める。	・多様な生徒が入学してくる中で、教育相談や特別支援教育の充実がよく図られていると思う。今後、日光市内の小中学校とも連携できる方策を考えてほしい。
			教職員間のコミュニケーションの活性化と職場環境の改善	教員アンケート結果分析	学年打合せや主任会を活用。肯定的評価8割だが、「そう思う」が4割以下。	B		
		②学校事故の未然防止のための教育計画・教育活動の点検・実施の徹底	ヒヤリハット事例の収集・検討による学校事故の未然防止	事例の収集・分析 学校評価アンケート結果分析	各学期学年で事例を検討。危機管理校内研修実施。肯定的評価約9割。	A		
			防災訓練のPDCAサイクルの構築	防災訓練の実施状況 教員アンケート結果分析	年2回防災避難訓練を実施。肯定的評価約9割。	A		